

Fグループ [1/3]

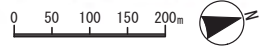
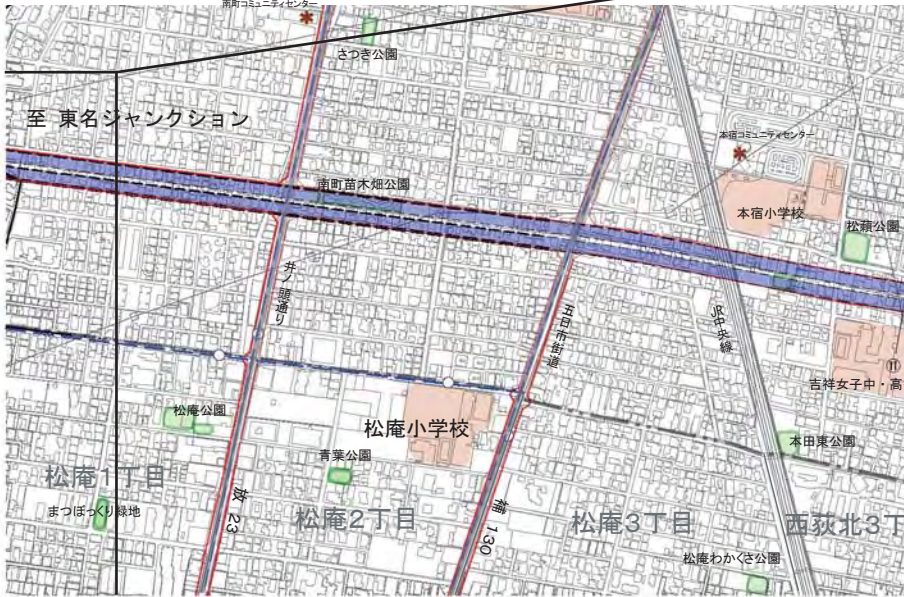
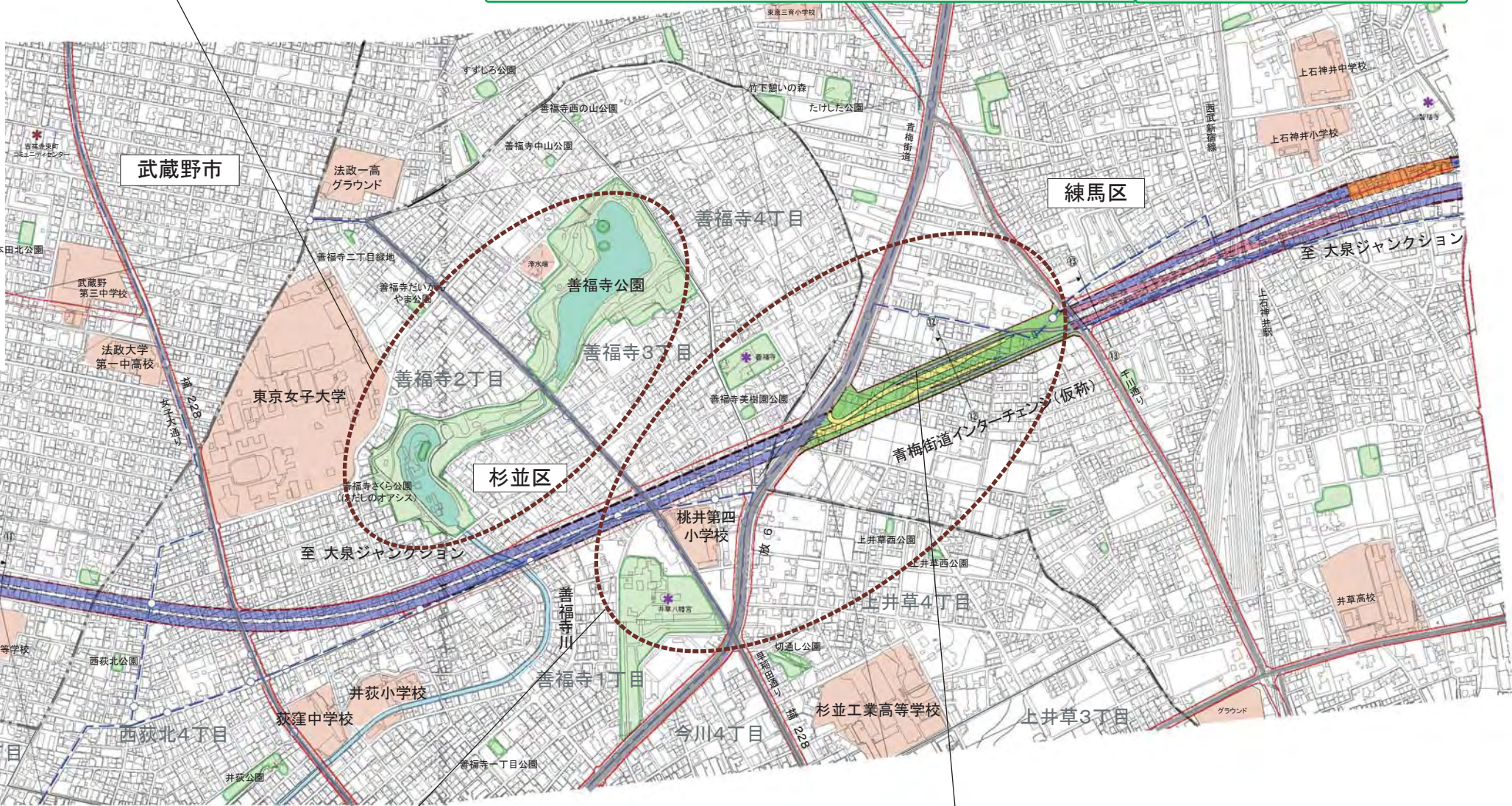
■善福寺池及びその周辺

- ・善福寺池が涸れることを懸念している。地下水流動保全工法が大丈夫であるという理由と内容を、データで答えてほしい。
- ・工事によって、善福寺池の水脈が変わることを懸念。木が枯れないか心配。
- ・緑豊かな善福寺地域を大事にしたい。高尾山のように木が枯れることを懸念。
- ・スーパーコンピューターを使ったら説明されたが、解析手法において解析メッシュの単位を詳細にしても、入力した地層データのサンプルがその詳細な解析メッシュに対応したサンプル数になっていないので、その結果には納得できなく、インチキなデータという懸念が残る。

- ・地下水流動保全工法についての16事例について、文学的な表現をいくらされても納得できない。16事例について、成功事例も問題が生じた事例も、きちんと最近までの全てのデータを数値で示し、問題が生じた事例についてはどのように対応したのかを具体的に(数値も含めて)、説明をしてほしい。それから、善福寺池は本当に涸れずに100%大丈夫なのかを説明してほしい。また、何かあった時は誰がどのように対応するのか、責任の所在を明確にしてほしい。
- ・善福寺池は、杉並区の宝である。地下水流動保全工法は、安全で池は涸れないと言われても、納得のできる資料や説明がない。環境影響調査の報告書も納得ができない。涸れてしまってからでは遅い。

- ・仮に、地下水流動保全工法が大丈夫と言われても浅層部分の青梅街道から北側部分に活用されるだけである。南側の大深度についての影響はどうか。ある専門家は大深度にすることで、善福寺池に100%影響があると発言している。深層(大深度)の場合の影響についても、事例や数値などにより根拠を示すなどで安心をさせてほしい。

環境



□凡例	
区境界	河川
主な公共施設	歴史資源
公園・緑地	都市計画道路
主な道路	バス路線/バス停
外環の地上部の計画範囲	
外環の地下部の計画範囲(地上部よりも内側となる範囲を除く)	
シールドトンネル部(一部若しくは全ての構造が41mより浅い箇所)	
シールドトンネル部(全ての構造が41mより深い箇所)	
トンネル分合流部(深度区分については注書き参照)	
地表部の路面(外環)	換気所
地表部の路面(外環以外)	現在の都市計画
地表部のその他の施設	進行方向

■桃井第四小学校周辺道路

- ・通学路の車がどれくらい増えるのかというデータがほしい。都市計画決定されている道路幅は、現在の青梅街道の約2倍近くになり、交通量も増えて、外環の近くにある小学校の通学路にも多くの車が侵入してくるのではと心配している。

交通

- ・通学路の車がどれくらい増えるのかというデータがほしい。子どもの通学路が、青梅街道の2倍の幅員になるので心配している。

安全

■青梅街道インターチェンジ

- ・環境アセスの予測評価は大丈夫だと言いつつ、具体的データは1回も出して貰っていないので懸念が残る。上手く言っている過去の16事例の内容を見せて欲しい。調査結果の責任はどこにあるのかを、明確にしてほしい。

環境

Fグループ [2/3]

■場所を特定していない意見

- 環境
- ・外環整備にともなって、緑が無くなることに懸念を抱いている。
 - ・工事に伴って、環境も改善するようにして欲しい。
 - ・シールド工法でトンネルを掘削した後セグメントという部材で露出地盤を覆うことになっているが、セグメントという部材によって地下水が飲めない水にならないか、その影響が心配である。
 - ・環境影響評価における予測評価は、環境に影響はなく問題がないと言っているが、どの項目についても具体的データが1度も示されず、根拠が明確ではない。影響はなく、安全である根拠を、具体的データで示してほしい。
 - ・前回求めた要求(データの提示等)、会における質問については、きちんと回答してほしい。
 - ・地下水流動保全工法の他事例(16事例)について、文章で「効果」を示すことを求めたのではない。具体的データで示し、それぞれの根拠を出してほしい。
 - ・環境影響調査の調査結果の責任は、どこにあるのか。いざ、何かが起きた時に責任をとる所在を明確にしてほしい。(例えば、高尾山の地下水は「大丈夫、影響がない」と言われていたのに、涸れてしまった。それなのに、責任者が不在で、誰に訴えればよいのかわからない状態である。)
 - ・パンフレットや前回の説明資料を確認したが、外環ができることでCO2が削減され、それが約2〜3万本の植林に相当するなど言っていた。そんな漠然とした全体のことだと、イメージがわからない。具体的にこの地域にとってどのような影響があるのかを示してほしい。この地域のケヤキ70本が切られてしまうのだ。どこの緑がなくなる代わりに、どこの場所にどれ程度緑を増やすのか。そしてそれにより、どこにどの程度、大気への影響があるのか。杉並地域にとってどのような影響があるのかを説明してほしい。
 - ・地下水への影響調査のために、ボーリングデータを1kmメッシュで採取しているということだが、コンピュータで解析する際、入力する地層データのサンプル数が、1kmメッシュに対応していない。いくら細かくデータを採取しても、解析する時にデータ入力のサンプル数が大雑把では、信頼度に欠ける。データ採取したサンプル数にきちんと対応可能な解析をし、精度の高いものとしてほしい。
 - ・今回、浅層地下水における水位変化や影響予測の説明しかなかった(地下水流動保全工法の説明のみ)。例として、井荻トンネルの説明をきいたが、最近のデータが出てなく、わざと隠されているように思えた。また説明を聞いても、影響がないようには決して読み取れず、かえって不安が広がった。今ある事例について、包み隠さず正しい情報を出し、問題があった場合はどのように対策をしているのかも含めて説明してほしい。
 - ・大気質の予測結果によると、二酸化窒素(NO2)および浮遊状粒子物質(SPM)の地表付近への影響は環境基準と比べても数百分の1以下との説明があった。そんなきれいな大気が排出されるわけがない。住民をバカにした説明である。住民が納得するように、根拠あるデータの提示を要求する。

- 安全
- ・新しくインターチェンジができ、生活道路の事故が増えた。これはデータがある。子どもの交通が心配。生活道路にどれくらい車が増えるのかということのデータが欲しい。
 - ・大深度トンネル技術委員会が、大深度地下トンネルの災害時の安全性を保留したので、懸念が残る。
 - ・トンネル火災事故対策については、大深度トンネル技術検討会において、課題が多いという結論が出ている。学識経験者などの意見を頂きながら検討していくという説明と矛盾する。
 - ・トンネル内火災時は、消防士が現地へ行き、避難誘導するとのことだが、あっという間に火の海になる中で、そんなことが本当に可能であるとは思えない。実現性のある災害時の避難方法や誘導の仕方を検討するべきである。
 - ・大地震も含めて、災害時にトンネル内はどうなるのか心配である。

- 工事
- ・工事中に、何年間も工事車両が往来するので、環境や安全性が懸念される。車輛や土がどれくらい1日に通るのか、予測を出して教えて欲しい。

- 進め方
- ・将来予測の根拠となっている交通量調査は、交差点などのある地点での交通量の数値を基にしている。道路のある断面での経過交通量として示される数値の交通量は、地点と地点(交差点と交差点)での交通量を根拠にしており、実際にそこの断面の場所で計測されたものではないので、正しい経過交通量ではないのではないか、不安である。
 - ・外環の必要性を議論するためのデータをとるために、アセスの予算と権限を利用すると説明された(H12都庁PIにて)。いつから正式なアセスに入ったのか、3回質問したが、答えてない。経緯的には、正式なアセスに入ったとは認められない。
 - ・区の要望書に対する答えが、きちんと答えられていないことへの不満がある。
 - ・外環ノ2は、これとは別に機会をつくって議論をして欲しい。外環ノ2があるなら、大深度でやる意味はない。
 - ・静かな環境を維持するために、大深度で外環は整備することになったので、外環ノ2は必要はなくなったのだから、外環ノ2の構想をゼロに戻して欲しい。
 - ・外環ノ2に反対。立ち退きをさせてまでやらなくてもいい。
 - ・外環ノ2について。一緒にまたは先に論じてほしい。
 - ・将来交通量の推計データについて、「将来予測値は変化がなく、大きな影響がない」などと公表されているが、その結果の出し方がおかしい。これは、交差点などでの交通量の数値を基に、地点と地点での交通量をスーパーコンピューターに入力し、それを根拠に出したものである。通過交通量のデータをもとにしたもので、あくまでも点の値であり、線の値ではないので信用度に欠ける。正しい経過交通量の将来予測値を出した上で、正しい交通対策を練るべきである。
 - ・現在の将来交通量のやり方は、パス解析のようなものであり、あくまでも確率の問題で予測である。ある地点と地点の交通量のデータを入力して、スーパーコンピューターで将来交通量を出すというやり方なのであれば、その交通量になるまでの経緯、プロセス(どのような数式を入れてこのような結論となるのか)をきちんと公表するべきである。高度すぎて地域が理解できないから結果だけを出すということでは納得しない。きちんと専門家を入れることで、将来交通量の信用度を判断してもらい、地域へ説明をする際にも専門家を入れて地域へわかりやすく説明してほしい。
 - ・将来交通量の推計データの算出の仕方がおかしい。これは、交差点などでの交通量の数値を基に、地点と地点での交通量をスーパーコンピューターに入力し、推計データを出したものである。行政からは、それでも正しい経過交通量が算出されると言われた。納得はできないものの、それではせめてそのデータの内容を見せてほしいと要求したが、その計算のための資料(データ等)は膨大なので見せることができないと言われた。こちらの疑問に対応しないことにも、不信感をもつ。地域が回答を求めたものや、疑問に感じたことは、きちんと答えるべきである。
 - ・地下水や交通量の影響について、全てデータをコンピュータに入力し解析すれば、信頼度があり、間違いがないといった論理はおかしい。地下水や交通量等の影響について、コンピュータで分析している内容についても、地域にわかる納得のいく説明をしてほしい。
 - ・今回、浅層地下水における水位変化や影響予測の説明しかなかった(地下水流動保全工法の説明のみ)。深層(大深度)の場合の影響についても、事例を示すなどで安心をさせてほしい。
 - ・現時点での環境アセスメントにおいては、大深度法を前提とした調査、手続きは、一切されてないので、調査内容が厳しくない。このまま大深度法を適用せずに、事業をすすめるのではないか。環境アセスメント手続がされる前に大深度法を適用するか否かを明らかにするべきである。
 - ・外環も外環ノ2も事業主が未定である。書類上の手続きで、事業主の箇所が空欄だと、ことが進まないという理由で、現時点は、現在関東地方整備局長となっているとのことだった。事業主が不在の中で環境アセスメントの調査を実施されても、責任を負う人が不在ということではないか。きちんと事業主を確定した上で環境アセスメントを実施し、責任の所在を確定することを求める。
 - ・経済状況も悪化し、不景気が続いている中で、外環の計画を進めるということは、ただ箱物がつくりたいだけのような気がしてならない。
 - ・バス会社によると、バス経路として採算がとれるのは、都心部へ向かう経路であり、南北の経路ではないとのことだった。需要もなく採算がとれない中で、外環をつくる意味があるのか。
 - ・外環ノ2は立ち退きがあるだろうが、外環が大深度になったことでそのことを理解していない方もいる。どの範囲が移転し、どのような補償があるのか、詳細がわからず不安である。

Fグループ [3/3]

■場所を特定していない意見

- その他
- ・交通量のデータが知りたい。外環の交通量の算出方法を知りたい。今までも他の地域でやっている過去のデータは間違いが多い。経験から、都のデータは信用することに懸念がある。
 - ・新しくインターチェンジができ、生活道路の事故が増えた。これはデータがある。子どもの交通が心配。生活道路にどれくらいの車が増えるのかということのデータが欲しい。(再掲)

■地域課題検討会の運営

- ・住民に答える格好の、うわべだけでこういった会をするのは大反対。前提条件はもうすでに決まってしまうのではと懸念。住民が選べないのはおかしい。
- ・今回初めての参加で、分からないことが多いが、他の参加者の人では詳しい人もいて、戸惑っている。全体で進行し、もう少し説明をして欲しい。
- ・国で決まっていることがあるなら、それを出して貰わないと、議論がしにくい。ハーフィンターについて、交通をさばく必要性から、不十分であると感じるが、今更意見として出してよいものか、分からないため、意見が言いにくい。
- ・知識・情報が少なすぎ、テーマ1の話に追いつかない。全体でやったほうが、知識が入る。このやりかたそのものが疑問だ。住民と国が乖離している。もう少し煮詰まってからやったほうがいいのでは。2～3年くらいやるならいいが、たった2回で住民参加型にはならないのでは。アリバイ型だと感じる。
- ・現地見学会を希望する。供用している換気所、井荻トンネル、これ大気質の予測結果によると、二酸化窒素(NO2)および浮遊状粒子物質(SPM)の地表付近への影響は環境基準と比べても数百分の1以下との説明があった。そんなきれいな大気が排出されるわけがない。住民をバカにした説明である。住民が納得するように、根拠あるデータの提示を要求する。作る予定のところも。実際に見ることで、安心したい。
- ・現地見学会を希望する。井荻トンネル。正直に、やっているところを見せてほしい。
- ・杉並区長からの要望書に対して国からの回答はおおざなり。「検討・調査・適切な処置」の繰り返し。机上の作文と感じる。具体的な回答をしてほしい。安心したい。
- ・国がやることに関して、今までの経緯から信用できないという 懸念がある。要望書に本気で答えているのか疑問。アリバイづくりなのでは、とPIそのものも疑問である。
- ・住民の意向に沿う物にするなら、今までの質問に答えてほしい。
- ・データの出所は明示してほしい。調査結果の責任はどこにあるのかを、明確にしてほしい。
- ・区長意見に対する国と都の回答について、環境対策は、18項目についての予測および評価を行い、周辺環境に著しい影響は及ぼさないと評価した。その上で今後の事業進捗に合わせて、必要に応じて適切な環境対策を検討していくという、問題を先送りにしただけの不真面目な回答が出されている。区長意見に対して、きちんとした回答さえくれたら、この会で課題の整理やアイデア出しなどをする必要もなくなるはずである。区長意見に対する、明確な回答を求める。
- ・区長意見に対する国と都からの回答がきちんとされていない中では、この会でも課題の整理ができない。区長意見について、きちんと回答をすることで、外環の必要性を説明してほしい。
- ・地域からの意見や質問について回答する立場ではない進行役によるグループ討議はやっても意味がない。まずは、地域からの質問への回答、区長への回答をし、自分たちの不安を取り除いた上で、グループ討議をするべきである。
- ・地域PI課題検討会は、外環整備の必要性についての議論や、それに伴い地域から出た不安や疑問に回答をしてくれる場だと思っていた。住民の意見を集約するだけの会であることに懸念がある。地域からの質問への回答をし、情報を開示した上で、外環の必要性から議論したい。自分たちの不安を取り除いてほしい。
- ・地域からの意見や質問について回答する立場ではない進行役によるグループ討議はやっても意味がない。まずは、地域からの質問への回答をし、自分たちの不安を取り除く場を設けてほしい。テーマ毎に徹底的に話し合える場をつくってほしい。

- ・「これまでに頂いた『対応の考え方(アイデア)』』というタイトルはおかしい。アイデアなどこの場で提供した覚えはない。アイデアを出すその前に外環の必要性や質問に回答をするべきである。
- ・地域からの意見や質問について回答する立場ではない進行役によるグループ討議はやっても意味がない。まずは、地域からの質問への回答、区長への回答をし、自分たちの不安を取り除いた上で、グループ討議をするべきである。
- ・テーマごとでも、徹底的に地域と話し合うことができる場を設けることで、地域の懸念や不安を取り除くことが重要である。
- ・事務局が当日の討議内容や、全体の傾向がわかる資料(地域が作成した資料B 100人の意見分析結果)を出すようにする。
- ・環境影響評価における予測評価は、環境に影響はなく問題がないと言っているが、どの項目についても具体的データが1度も示されず、根拠が明確ではない。影響はなく、安全である根拠を、具体的データで示してほしい。前回求めた要求(データの提示等)、会における質問については、きちんと回答をしてほしい。
- ・本会は、PIの本当の意味(市民参画)ができていない。行政は、外環の必要性から説明をした上で全体で必要性から議論するべきである。
- ・外環が大深度地下になったということばかりが宣伝されていたために安心してしまったが、外環ノ2が地上に残っているということで驚いている方もいるし、まだ地域には認識できてない方もいる。外環ノ2についても、今、きちんと検討するべきである。
- ・外環と外環ノ2はセットで取り組むべきである。

Gグループ [1/2]

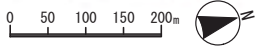
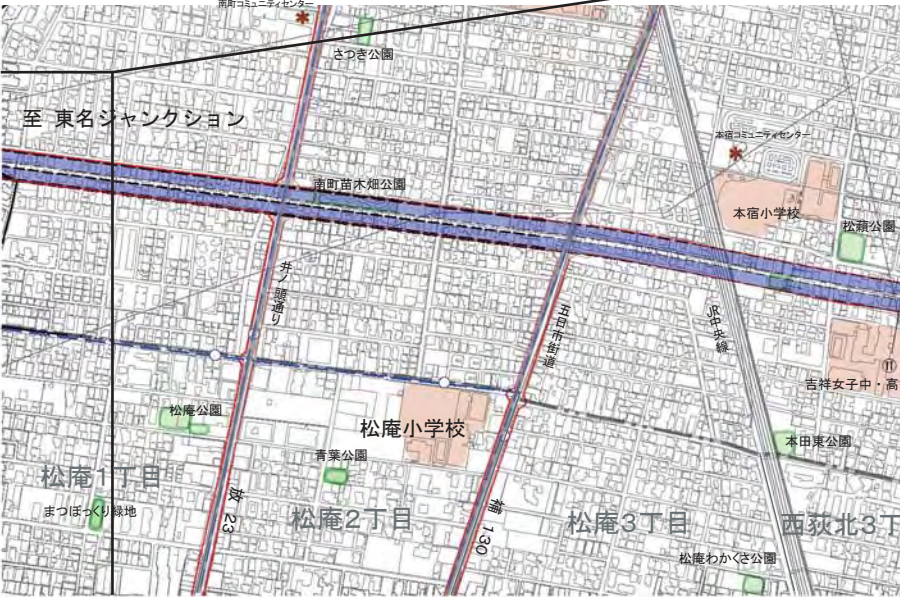
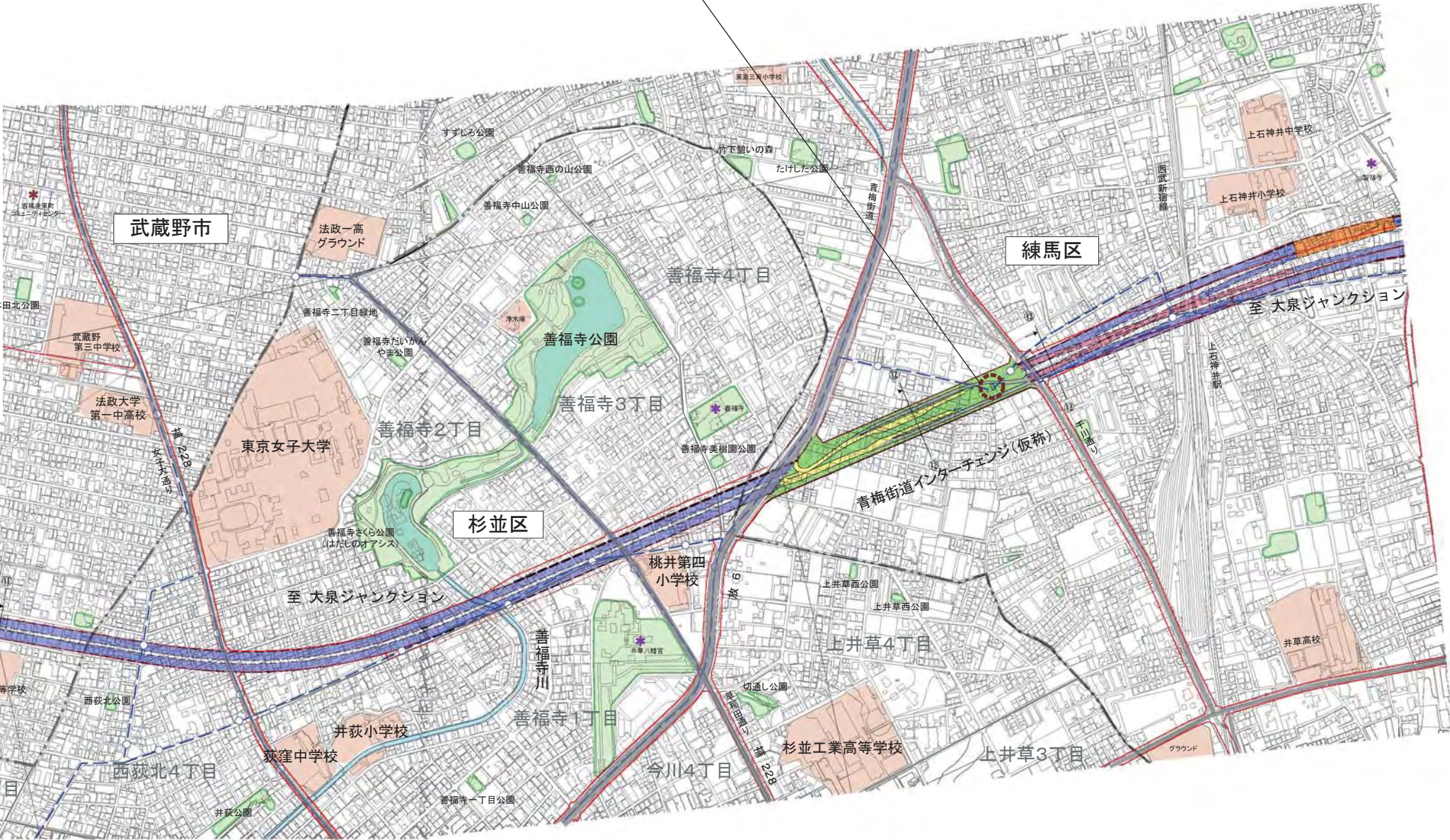
■換気所

・排気ガスは電気集塵機よりも、湿式で集めた方がより細かい粒子まで集められるので、後者を使うべき。また、集めた後の処理方法が知りたい。

環境

安全

・交通事故や、事故後の二次災害、強いてはテロリズムが起こった時のことを想定しているのか。また、安全対策を考慮に入れているのか。災害や事故発生時の安全性が心配である。



■場所を特定していない意見

・地盤沈下の発生が心配。もし地盤沈下が起こったら、国は無期限で保障してほしい。

・環境対策(水対策)にて、アセスのデータではOKが出ているが、本当に安全と証明できるのか。ボーリング調査結果を基に安全を証明して欲しい。

・省ガリン・経済性・渋滞など、地方とは違う、様々な問題がある。(CO₂やNO_xなどの環境への影響など)。問題の整理が必要だ。

・大深度を通すには不安な点が多すぎる。

環境

□凡例	
区市境界	河川
主な公共施設	歴史資源
公園・緑地	都市計画道路
主な道路	バス路線/バス停
外環の地上部の計画範囲	
外環の地下部の計画範囲(地上部よりも内側となる範囲を除く)	
シールドトンネル部(一部若しくは全ての構造が41mより浅い箇所)	
シールドトンネル部(全ての構造が41m以深になる箇所)	
トンネル分合流部(深度区分については注書き参照)	
地表部の路面(外環)	換気所
地表部の路面(外環以外)	現在の都市計画
地表部のその他の施設	進行方向

Gグループ [2/2]

■場所を特定していない意見

- 進め方
- ・建設費概算は1.6兆円。高速使用料での費用回収は無理なのではないか?アクアラインや本州四国ラインなど(橋)はいずれも巨額な赤字を残している。
 - ・税金を外環整備に使うのではなく、医師不足、若年層健康保険加入、老朽化した橋の補修、何より、大地震の折の避難所となる学校の耐震設備の整備が先決なのではないか。
 - ・将来、環境アセスの予測よりも悪い結果が出た場合、誰が責任を取るのか、責任を明確にしてほしい。
 - ・本計画を知らない人が多すぎることに懸念がある。JR、私鉄の駅や大看板の設置などでこの問題を幅広く周知してもらうべき。
 - ・地権者であってもこの計画をよく知らない人がいることに懸念がある。
 - ・町会の回覧板などでだけでなく、時代に対応した伝達方法(ITメディア)を工夫して欲しい。
 - ・商店主に対して小規模な説明会を開いていただきたい。50～60店舗のうち半分以上が知らない状態。
 - ・将来交通量のデータベースは、平成11年の数値を基にしている。H11～H20年の間に交通量をはじめ、他のデータも変化しているはず。平成20年のデータで検討し直して欲しい。
 - ・将来交通量推計データについて、計画した時点のデータはいつのものかも分からないし、古い可能性がある。現在(平成20年)のデータを基にすれば、将来交通量予測のデータは下方になるはず。(H20.5.16日経新聞にそう書いてあった)外環道の必要性の見直しが必要である。
 - ・将来交通量に関して、平成20年のデータを示し、それを基に将来交通量推計データH32、H42の予測をしてほしい。
 - ・将来交通量に関して、外環を通過する車の目的別(特に物流、個人ドライバー)の予測データはあるのですか?あれば見せてほしい。
 - ・若年層の運転免許取得者が減っている。自動車保有台数並びに通行量も減少するので新しい道路をつくる緊急性は低くなっているはず。外環の必要性から討論すべき。
 - ・外環の整備効果-2について、40分～100分の渋滞を解消するために外環を通す計画は大げさすぎると思う。
 - ・高速使用料での費用回収が無理な場合、次世代、次々世代に赤字(負の財産)を残してはいけない。
 - ・石原東京都知事が新銀行に投資した同額1,400億円を外環調査費に使って欲しい。
 - ・外環の必要性から討論すべきである。
 - ・外環と地上部外環ノ2と併せて議論していきたい。
 - ・すべてのグループで、地上部は議題になっているのか?きちんと議題にした方が良い。
 - ・外環ノ2は地域密着のニーズに沿って、廃止も含めてこの場で議論したい。
 - ・外環ノ2は外環が地下化と都市計画決定した時点で必要性がなくなっているはず。外環を地下方式にしたという都市計画決定がなされた時点で、外環ノ2は白紙に戻すべきである。
 - ・外環ノ2が地域の防災などの視点で必要というのなら、外環とは違う計画としてきちんとその必要性から議論すべき。
 - ・外環ノ2のコストを示して欲しい。
 - ・外環ノ2はそもそも、誰が欲しがっているのかを示して欲しい。ニーズのありかを示して欲しい。
 - ・外環ノ2はなぜ40mもの幅を必要としているのか分からないので、根拠を示して欲しい。40m幅は必要ない。
 - ・「外環地上部街路についての基本的な考え方」(H17年)の3つの考え方の選択肢は平等に考えられているのか知りたい。特に「代替機能を確保して都市計画を廃止」がなくならないようにしてほしい。
 - ・外環ノ2の地上部の面積が知りたい。

- その他
- ・外環大深度地下の建設費を示して欲しい。
 - ・外環大深度地下計画の運営費の予測を示して欲しい。
 - ・大深度での建設にかかるコストは地上よりも高いのでは?外環、外環ノ2、それぞれのコストを示して欲しい。税金を使うことに懸念がある。
 - ・ガソリンの値段高騰により首都高速の渋滞が少し緩和されたという情報を聞いたことがあるが本当か。そのような点からも通行予測は難しいと思いますが、予測の根拠をはっきり示して欲しい。
 - ・この換気所で、本当に換気ができるのか。
 - ・渋滞時の排気ガスはあの換気塔が賄えるのか。
 - ・排気ガス以外の、タイヤの構成物質を示し、人体に及ぼす影響が心配。影響を調査、発表してほしい。

■地域課題検討会の運営

- ・計画検討の進め方について、後戻りしない議論がしたい。
- ・外環に関する運動に長くかかわってきた人の専門的な意見が強く出過ぎて、一般の人の考えが表に出にくくなる恐れがある。
- ・若年層の運転免許取得者が減っている。自動車保有台数並びに通行量も減少するので、外環は必要なくなるのではないか。
- ・地域課題検討会を開催するタイミングが遅すぎ。事業決定前におこなわないと意味がない。
- ・グループ討議を、もっと計画の早い段階(事業決定前)に導入するべきであった。
- ・この場で外環の必要性からの議論できないと思う。
- ・外環計画についてのプラスの評価が少なく、議論がマイナス面に集中しすぎている。議題の整理が必要である。
- ・今回出た意見を反映して欲しい。そして、次のステップの策定にも関わらせて欲しい。また、関わる方法を示してほしい。
- ・本日発表された、根拠も含めたデーター式(外環整備効果、環境影響評価の結果、杉並区長からの意見への回答)を公開するべきだし、して欲しい。
- ・外環の説明会が過去何十年も行われているが、やり取り無し、回答無し、積み上げ無しの状態であった。「聞きました」というポーズだけだった。今回はデータ資料提出等でしっかりと反応して欲しい。
- ・今回のような報告結果は、国にとって都合のよいまとめ方をするのではなく、客観的な意見の集約としてまとめてほしい。
- ・住民が作成した意見のまとめ(配布された資料B)と国が作成したまとめ方に大きな違いがある。住民の意見が反映されていないように見える。まとめ方に問題があると思うので、生意見をそのままの形で掲載してほしい。
- ・今回の住民からの質問に対して、国と都が答える場がまず必要である。
- ・前回と同じもの(前回とほぼ同じようなデータ)を出してくるのはおかしい。もっときちんと説明をしてほしい。住民の中には、「どうしても必要ならば考えましょう。」というスタンスの人もいるが、国から回答をもらった上で、必要か否かを判断したい。
- ・第2回課題検討会で出た質問に対しての国・都からの答えがないと議論もできない。答えはいつ出るのか。質問に答えるべきである。そしてその答えを基に、行政は住民と対話をすべきである
- ・参加者が問題提起をしたことに対して、データでの回答が国から出てこない。そうすると、また同じ質問がでる。そうすると会の意味がない。これを繰り返すだけになるので、国は住民に対して根拠あるデータを提出するようにしてほしい。
- ・外環ノ2に関して、今回この場で出ている疑問に対して、東京都は根拠ある回答をしてほしい。
- ・いつも道路計画ありきの前提で、国は事業を進める。そうならないためにも、検討会の継続が必要である。
- ・この検討会は、外環の必要性から議論する場と認識している。

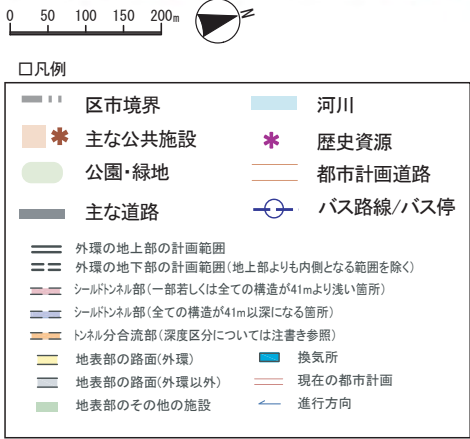
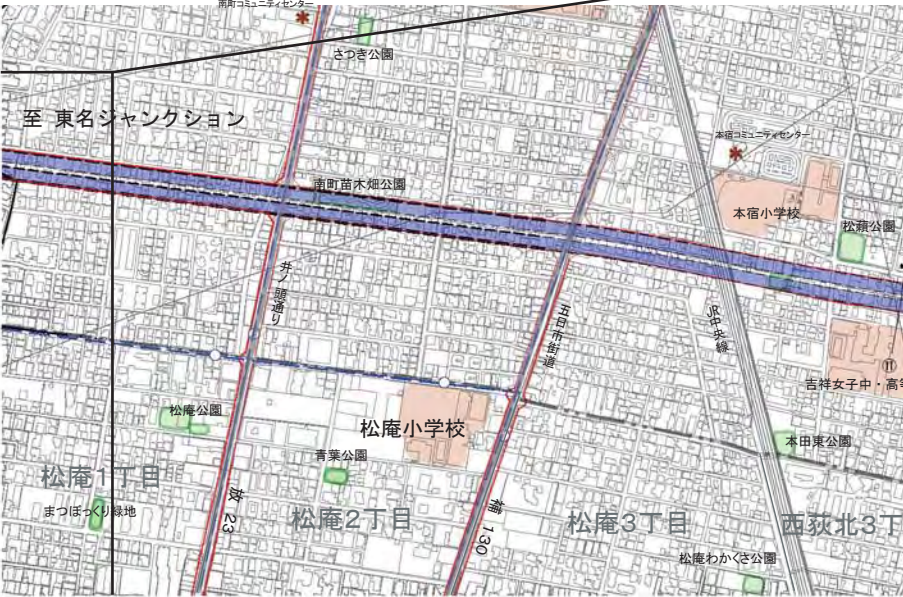
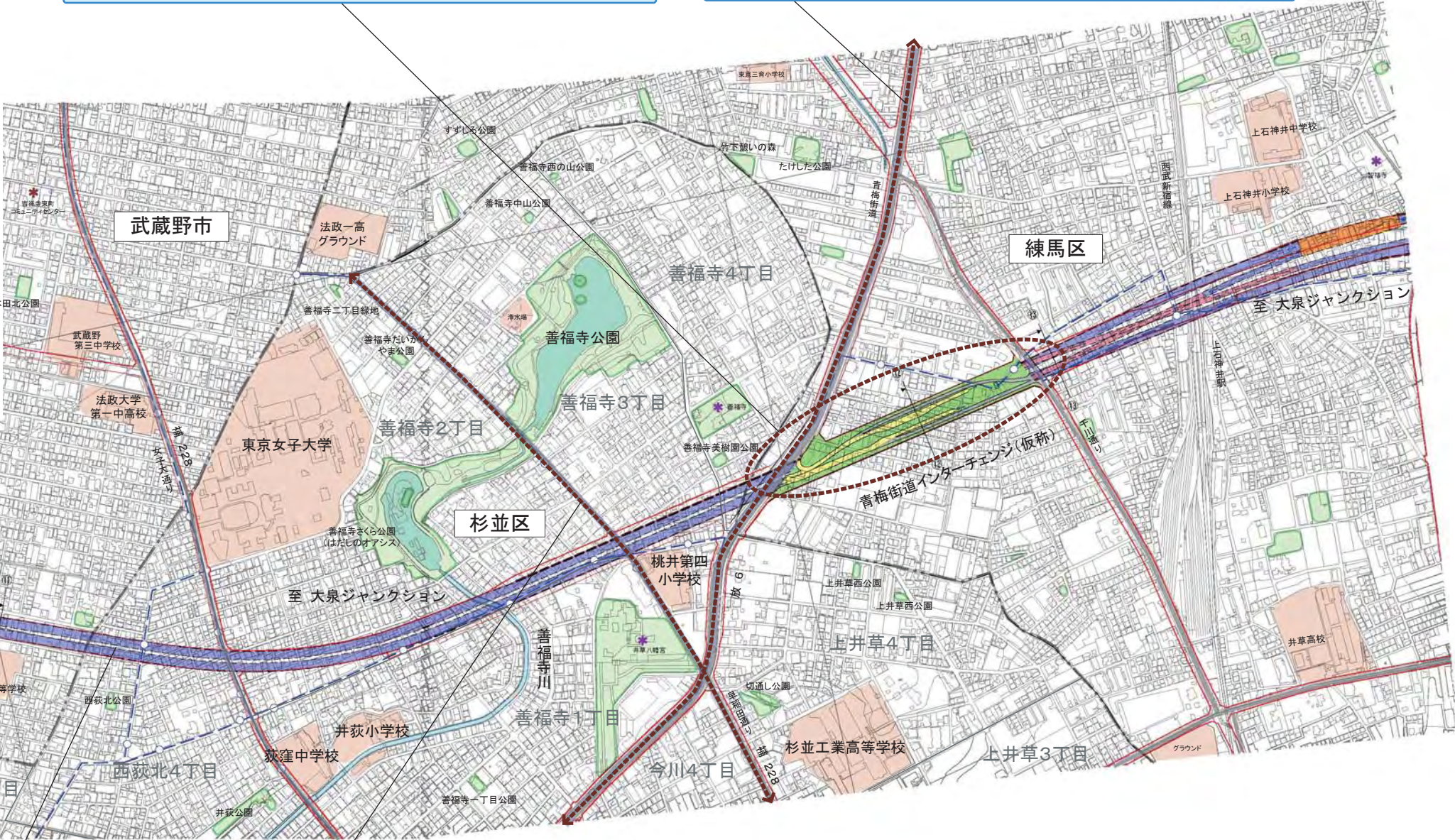
Hグループ [1/2]

■青梅街道インターチェンジとその周辺

・青梅街道インターチェンジの周辺で抜道に使われている千川通りや早稲田通りなどは、杉並区、練馬区、武蔵野市など複数の区市にわたり、効果的な対策が取れないのではないかと心配している。青梅街道インターチェンジに関係する行政間で連携を取ることが必要である。

■青梅街道

・外環を利用する車が増えて、青梅街道が混雑するのではないかと心配している。インターチェンジの交差点に信号を新設しても、渋滞が起こるのではないかと心配している。「渋滞対策は大丈夫」という感覚的な回答ではなく、数値などの具体的なデータを示して欲しい。



■外環N2

・外環本線が地下化しても、外環N2の計画が残っている場合は、計画地内の人たちは立退きが必要になることが心配である。事業費も削減ではなくて、増加することになるのではないかと心配している。

■青梅街道インターチェンジとその周辺(善福寺公園通り)

・青梅街道インターチェンジ周辺の交通安全対策が心配である。例えば8m幅の善福寺公園通りは、今でも抜道に使用されており、ますます安全性の確保ができなくなるのではないかと心配である。生活道路への流入防止のために、青梅街道の拡幅による渋滞解消や生活道路の一方通行化など、交通安全対策の打つ手を考えて欲しい。インターチェンジを設置するのであればそれくらいの対策は必要である。

■場所を特定していない意見

・外環を地下化することで、地下水が遮断されるのではないかと心配である。

・地下水脈への影響が出て、地下水が涸れて地盤沈下につながるのではないかと心配である。外環を整備するのであれば、地下水脈の保全に関して最高の技術を導入して、影響がないようにして欲しい。

・検討会の議論や事業化を進める過程で、それまでに「大丈夫」と言っていたことについて、大きな影響が出ると分かった場合などは、その時点で外環の計画を中止することが可能か教えて欲しい。

環境

Hグループ [2/2]

■場所を特定していない意見

進め方

- ・杉並区は自分の地域を守れば他は関係ないというスタンスが見られるようで、結果として利便性が損なわれるのではないかと心配である。中央高速自動車道の高井戸インターチェンジも周辺住民の反対でハーフインターになった経緯があり、高速道路の利用が不便である。青梅街道インターチェンジもハーフインターでは不便なので、新設するのであればフルインターにして欲しい。
- ・青梅街道インターチェンジは、目白通りインターチェンジから距離が近く、設置する効果が不明なので、新設の狙いを説明して欲しい。
- ・クルマ社会から公共交通機関を重視した社会に移行しつつあり、このような世の中の動向が将来交通量の調査や外環の必要性の議論で考慮されているのか心配である。時代背景にあわせた交通需要予測などを通して外環整備の必要性を再検討したい。
- ・青梅街道インターチェンジについて、杉並区だけで議論しても課題解決につながるか不安である。青梅街道インターチェンジは、区境に位置しており、影響を受ける杉並区、練馬区、武蔵野市など関係する範囲で議論をしてみてもどうか。
- ・外環開通後の青梅街道の将来交通量が、現在とほぼ同数で増加しないと予測されているが、その根拠を示して欲しい。
- ・外環が開通しインターチェンジが新設されるとそこを利用する車で青梅街道の交通量が増えると思うが、将来交通量の予測では増加しないと示してある。なぜ増えないと言えるのかわからない。
- ・外環開通後の青梅街道の将来交通量が予測されているが、どここの道路の交通量がどここの道路に分散されてどれくらい減少するのかなど、算出した具体的なデータを示し、結論だけでなく、途中の経緯も合わせて示して欲しい。
- ・外環本線と外環ノ2は、国と東京都で担当が異なるからという理由で切り離して考えたいとのことだが、どちらも地域に影響を及ぼす問題なので、切り離すことはできない。関連させて話を進めないとそれぞれについて「賛成」「反対」程度のことしか発言できず、深い議論ができないのではないかと心配である。
- ・外環本線が地下化しても外環ノ2が従来の計画通りでは、立退きなどの影響が地上部に及ぶことが心配である。外環本線と外環ノ2は合わせて議論をしたい。それぞれの担当が違うといっても、地域住民には関係のないことである。

■地域課題検討会の運営

- ・広域的な観点から見て、基本的には外環整備に賛成である。しかし、立退き、地下水、外環ノ2など地域への影響を具体的に考えると総論賛成、各論反対になってしまうのではないと思う。
- ・青梅街道インターチェンジの設置については、賛成・反対の全員同意ということはあると思う。地域課題検討会の進め方として、メンバーからの「質問」に対して行政は一度だけの「回答」で終わらせるのではなく、新たな疑問について再質問・再回答をするなど、キャッチボールをしながら議論していきたい。議論をしつくしたと感ずることができれば、賛成はできないとしても、ある程度の納得はできるのではないと思う。
- ・地域課題検討会の場を設けることで、地域の意見を聴いたというアリバイ作りに利用されることになるのではないかと心配である。
- ・地域課題検討会資料や説明内容で議論すべき課題の整理や方向付けをしてほしい。今日参加して「外環ノ2」の計画を初めて知った。地域課題検討会を進めるに当たり、その論点を予め共有できるようにして欲しい。そうでないと主催者が、あえて情報を隠しているのではないかと疑われても仕方がないと思う。
- ・地域課題検討会の資料や説明内容で議論すべき課題の整理や方向付けをしてほしい。①外環本線や外環ノ2などの前提となる論点をメンバーが共有できる仕組みをつくること。その上で、②メンバーが求めた情報（質問、疑問）について行政が回答する仕組みをつくること。が必要だと思う。
- ・将来交通量の予測など、計画内容について知りたいことを質問しても、結果だけの回答や、一部だけの情報提供、見当違いの内容が回答されることがある。主催者の都合が良いように情報を操作しているのではないかと心配である。
- ・地域課題検討会の参加募集チラシが配布されていない地区から追加登録できるようになる場合には、インターネット等で募集を呼びかけて欲しい。そもそも登録制ではなく、誰でも参加できるようにして欲しい。
- ・地域課題検討会の参加募集チラシが配布されていない地区があり、申込が間に合わなかった人が居り、その人たちの意見が反映されないことが心配である。今後、地域課題検討会に追加で登録できるようにして欲しい。そもそも登録制ではなく、誰でも参加できるような開かれた会にして欲しい。
- ・最初に登録した人だけでなく、次回以降から誰でも検討会に参加できるようにして欲しい。資料や議事録などの経緯を公開し、途中参加する人は、これまでの検討経過と論点を勉強したうえで参加するようにすれば、議論が振り出しに戻るようなことはないと思う。資料の公開はインターネット等でできると思う。
- ・地域課題検討会の終了 時間は守って欲しい。
- ・午前中に行われた「疑問に関する補足説明」の内容は、メンバーの質問内容に対して、回答や説明の質が追いついていなかったと思う。資料内容に満足していないので、改めて説明会などを開催してほしい。
- ・課題検討会では、メンバーからの質問と行政からの回答を何度も繰り返して議論したいので、2回では足りないと思う。3回目以降も開催してほしい。
- ・行政からは参加者が納得する回答が十分に出されていないのに、参加者には意見を出してくださいという姿勢がおかしいと思う。課題検討会のあり方を再検討してほしい。
- ・外環本線、外環ノ2については、1つの計画として切り離さずに検討をしたい。
- ・検討会の話し合い結果や議事録をHPなどで公開してほしい。現在は、開催しましたという速報しかHPで公開されておらず、他地区の話し合いの成果などを共有したい。公開手法はともかく、公共事業である以上、税金を納めている人が情報を見られる体制にしておくことが必要である。